

第25回 WPC Energy Congress (リヤド) に安藤専務理事が登壇 「Pathways to an Energy Future for All」 パネルで日本のエネルギー転換とJCCPの取り組みを発信

2026年10月14日 (水) サウジアラビア・リヤドで開催された第25回 WPC Energy Congress (世界石油会議) のプレナリーセッション「Pathways to an Energy Future for All (すべての人のためのエネルギーの未来への道筋)」に、安藤専務理事がパネリストとして登壇いたしました。

本セッションは、供給の安全保障、持続可能性、経済的な手頃さ (Affordability) のバランスを取りながら、急増する世界エネルギー需要に対応する戦略的必要性が議論されました。

安藤専務理事は、多角化や省エネ技術開発を推し進めてきた日本のエネルギー安全保障の歴史的歩みを紹介するとともに、人財育成や技術協力を通じて産油国との信頼構築を45年にわたり築いてきたJCCPの役割を強調しました。さらに、供給安定化におかる長期契約の重要性を認めつつも、将来の不確実性やリスクに備えるためには「0から1」を生み出す初期段階の技術イノベーション育成が不可欠であると語りました。



〔登壇者〕 敬称略

ムハンマド・アライブラヒム (サウジアラビア エネルギー省 石油・ガス担当副大臣)
安藤 晴彦 (JCCP CEO)
ムハンマド・アルバライヘッド (PIF エネルギー・ユーティリティ部門責任者)
アーメル・アルアジュミ (アルファナール・エンジニアリング・サービス CEO)
ディーナ・アルカイヤル (ライオンデルバセル・アラビア マネージングディレクター)
〔モデレーター〕 ガラ・アルファハド (サウジアラビア エネルギー省)